

もともと身近に

# 男女共同参画

◎協働まちづくり課

コミュニケーション推進室

TEL44-3107

知っていますか？

## アンコンシャス・バイアス

アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の偏見」や「無意識の思い込み」のこと。物事を判断する時、私たちは過去の経験や周りの環境に捉われて、知らず知らず偏った判断や考え方をしていることがあります。

クイズで一つ、クイズを出します。

少年とその父親が交通事故に遭い、2人とも大けがをしました。救急車で別々の病院に運ばれ、少年を担当した外科医は、顔を見るやいなや叫びました。「これは、私の息子です！」さて、この外科医と少年の関係は？

この文章を読んだ時、「お父さんは別の病院に運ばれたのでは？」「外科医もお父さん？」と思った方はいますか？「外科医は男性」という思い込みがあると、そう考えてしまうのかも知れません。このクイズの答えは、「外科医は少年の母親」です。

このように、私たちは無意識のうちに思い込みで物事を判断してしまうことがあります。「男性はハンコンに詳しい」「子どもが病気の時は、母親が休

んで看病した方がよい」「定時で帰る人は、やる気がない」「若い人は発想が柔軟」なども、よくある身近な無意識の偏見や思い込みの事例です。

## アンコンシャス・バイアスの問題点

アンコンシャス・バイアスは誰にでもあり、それ自体が問題ではありません。問題は、知らず知らずのうちに、自分と違う考え方を認めることができなかつたり、自分の考え方を押し付けたりしてしまうことです。

無意識がゆえに、知らぬ間に「誤解」を生じさせ、人間関係に悪影響を及ぼしてしまうことがあります。

まずは、アンコンシャス・バイアスの存在を知った上で、自分の日頃の行動に潜む無意識の偏見や思い込みに気付くことから、男女共同参画を考えてみましょう。

市では、男女共同参画推進プランを策定し、多様な価値観を認め合い、個性と能力を発揮できる社会の実現を目指しています。

推進プランの内容は、市ホームページをご覧ください。

